



丸小だより

～実践目標 自分が輝く、みんなも輝く～

横浜市立丸山台小学校 学校だより
2月号
令和4年1月31日(月)

「大事なこと」

副校長 野村 光

新年のご挨拶をしてから早いもので、もうひと月が過ぎようとしています。日頃から新型コロナウイルス感染対策の対応への様々なご協力に感謝いたします。

大寒を迎え、今が一年で一番寒い時期です。冬休み明け早々には横浜でも2年ぶりの積雪がありました。また、各地から大雪のニュースを耳にする度、今年は全国的に例年以上に寒い冬であることを改めて感じます。

1月以降、再び感染症の患者数が急増しています。学校では3密に配慮しながら、子どもたちの学びを止めないように、コロナ禍でこれまで経験したことを生かしながら、少しずつ前に進んできました。慣れない日常、長く続く感染防止対策の日々の中で、子どもたちも一生懸命です。イレギュラーな日々に、迷い悩む子どももいると思います。

今から20年以上前に、『それが大事』という曲が流行りました。

「負けない事、投げ出さない事、逃げ出さない事、信じ抜く事、だめになりそうなときそれが一番大事…」というサビの歌詞が印象的で、この歌を聴いて、私も担任としてがむしゃらに頑張っていた時期を思い出しました。

最近、同じアーティストが、この歌のアンサーソングを歌っていることを知りました。その歌の「負けてもいい、投げ出してもいい、信じ抜けないこともあるだろう…」という歌詞を聞いたときは、何故か肩の力が少し抜け、ほっとした気持ちになりました。逃げるのではなく、ときには上手に回避することも大切であるということ。そして、「人と比べて負けない」のではなく、「自分の中の弱い自分に負けない」ことが大事であるということ。

今年度の「丸リンピック」で子どもたちは、『8秒間走』に挑戦しました。「8秒間でゴールを切ることをめざす」この種目は、スタートの位置を自分で決めました。練習を繰り返すたびに、少しずつスタートの位置が後ろに下がり、8秒間で走り切れる距離が長くなった人もたくさんいましたね。

二十四節気の、大寒の次にやってくるのは、立春です。

先日、Webサイトで今年の桜の開花予報を目にしました。桜は一定の寒さの中を過ごして、初めてその花を咲かせることができます。前の年を生きてきた結果の開花なのです。

3月23日の横浜の開花予想日まであと約2ヶ月余です。春に夏に秋に冬に、この一年間様々な事を経験した自分の力を大事にして、次に必ずやってくる新しい春のスタートにつなげてほしいと願っています。



▲校庭の桜の枝先には小さなつぼみが育っています
【1月28日撮影】